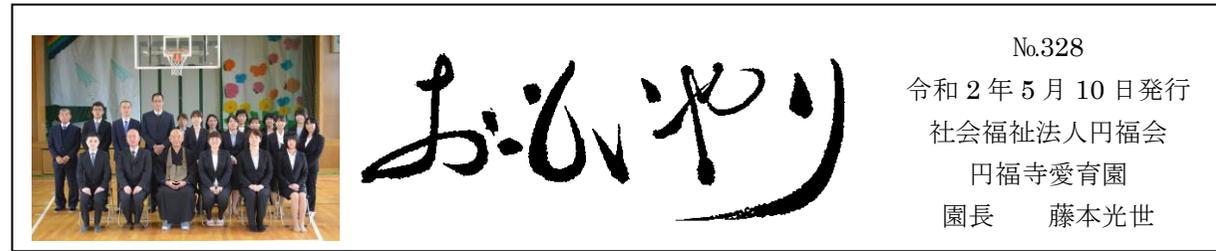


新年度スタートしました！愛育園は毎日元気にありふれています！！



愛育園学校

園長 藤本光世

新型コロナウイルスの感染拡大により、すべての学校が臨時休校になり、子どもたちをどう過ごさせようかと考えました。結論は「愛育園学校」をやる、です。

児童棟と道を挟んだ児童福祉センターを「愛育園学校」にしました。クラスは、図書館クラス（小学生、中学生）、食堂クラス（高校生女子）、談話室クラス（高校生男子）の三学級です。

平日は、学校がある時と同じ6時起床。おまいりをして、朝食をとり、部屋の片づけ、お洗濯物干し、部屋などの消毒をして8時40分になるとランドセルやカバンを背負って「登校」してきます。私は入り口に篠ノ井あいさつ運動の緑のタスキをかけて「おはようございます」と迎えます。

子どもたちが元気な声で「校長先生おはようございます」と言ってくれます。ハイタッチです。

午前中は2時間、午後は12時40分から1時間の学習です。子どもたちは、集中して取り組んでいます。学校から出された課題の勉強が優先です。それが終わったら、新しい単元の予習です。数学と英語に力を入れましょう、と話して予習の方法を教えます。この機会に一步でも二歩でも子どもたちを前に出したいのが願いです。スタートで前に出れば、その勢いで走ることができます。

1時30分に午後の授業が終わると、愛育園独自の時間になります。各ホームに別れて「自然」「工作」「家庭科」などの時間になります。職員がアイデアを出し、内容を考えてくれました。男の子は「自然」や「工作」など、体を動かして学びます。女の子は「家庭科」です。

「自然」とは、里山の沢や池に出かけて、魚や、カニやザリガニとります。魚は釣りや、網や、ペットボトルの罠に仕掛けをしてとります。カニやザリガニは手でとります。愛育園のアクアリウムの中で、とった魚が泳いでいます。石を置いた皿の中で、カニやザリガニが動いています。子どもたちは誇らしそうです。自慢します。嬉しそうです。

時には、里山登りです。近くには里山がたくさんあります。春の里山は、新芽は出ていませんが、景色が良いです。

「工作」は凧作りと凧あげです。今は、ビニールシートとストローで凧ができます。驚きました。知りませんでした。春は風が強いので、ビニールシートに思い思いのデザインを描いた凧はとって

も良く上がります。千曲川の河川敷グラウンドは、台風19号で使えなくなったとっても大きな広場です。子どもたちがどんなに走りまわっても大丈夫です。そこに、たくさんの凧が上がります。盛観です。凧作りはバランスなどの工夫が必要です。工夫したことは、凧あげにすぐに表れます。工夫の楽しみが味わえます。

「家庭科」は女の子です。食堂で、おやつ作りです。みんなでもって甘くて美味しいおやつを作っています。私もお裾分けをいただきました。クラフトのお料理も作っています。時には、雑巾縫いもやってくれています。女の子らしいですね。

愛育園独自の時間が終わると、5時から「体育」の授業です。「体育」はマラソンです。みんなで、千曲川の土手の上を風を切って走ります。子どもたちは約3キロです。私も走ってみました。昔のようには行きませんので2キロに負けてもっています。

「体育」が終わると、6時からお掃除です。子どもたちは隅々までお掃除してくれます。その姿勢に感心します。お掃除が終わるとおまいり、そして夕食になります。夕食後は7時半から学習です。

こうして、学校がある時と同じように、いや、それ以上に毎日を過ごしています。ゲームなどしている子は一人もいません。みんな、愛育園の時間に心を満たして、生活を、勉強を頑張っています。

子どもたちに、人間の価値は危機の時に表れるんだよ、と話します。そして、組織の価値も危機の時に表れると話します。愛育園はコロナ危機に正面から向かって、これを奇貨として、子どもたちを立派に育てる施設として、前に出ようと思っています。力を惜しまず、時間を惜しまず子どもたちとともに、子どもたちに尽くしてくれる職員に感謝です。

学校が休みですから、朝昼晩の三食を子どもたちが全員で食べます。調理の先生方、心を込めた手作りの食事をつくってくださり、ありがとうございます。子どもたちは、幸せですね。先日の食事を紹介しましょう。

お昼は、サンドイッチでした。生クリームとミカンを挟んだサンドイッチ、ゆで卵とマヨネーズを挟んだサンドイッチ、バターとハムときゅうりを挟んだサンドイッチとシチューを子どもたちは



4月25日(土)
御飯
味噌汁
はんぺんのチーズ焼き はんぺん、スライスチーズ、きゅうり
たくあん
サンドイッチ サンドイッチ用パン、ハム、きゅうり、マーガリン、マヨネーズ、砂糖SP、パセリ、みかん缶、ハインツホイップクリーム
コーンクリームスープ 玉葱、人参、ベーコン、コーン缶、クリーム缶、牛乳、シチューの素、コンソメ、SP
牛乳
お菓子
麦茶
ス夕丼 米、長葱、豚肉、油、キムチ、きゅうり、温泉卵、生姜チューブ、にんにくチューブ、酒、みりん、醤油
ぞうめん汁 ぞうめん、だし、酒、みりん、醤油、万能ねぎ
生春巻き ライスペーパー、サニーレタス、きゅうり、かにかま、ハム
ピン牛乳

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

お代わりして、心行くまで食べました。美味しかったですよ。夕食はスタ丼と、そうめん汁と生春巻きでした。すべて手作りです。こんなにおいしいお料理を作ってくれ、子どもたちが食べている施設はないと思います。子どもたちに感謝しなければいけないよと話しました。子どもたちの心を満たそうと、一生懸命尽くしてくださっている調理の先生方に感謝です。

こうして、子どもたちは心を満たし、笑顔があふれ、勉強に一生懸命に取り組み、自分から自分を伸ばそうと努力します。そうして、奇蹟的に子どもが変化して育ちます。

笑顔あふれる子どもたちに幸いあれ。

(子供たちの様子は、ホームページの写真でもご覧ください。)

高校入学して

あおぞらホーム長 富沢正樹

今年度、男子 2 名が無事、松代高校と俊英高校にそれぞれ高校入学する事ができました。私が担当しているN君は松代高校に入学できました。N君は、受験 1 か月前から、かつてないほどの猛勉強をしました。N君は、正直言って、勉強が大嫌いで不得意です。本人も日頃から堂々と公言しています。最終的に志望した松代高校は、点数がギリギリ、もしくは、合否が危ういレベルでした。それでもN君はスイッチが入りませんでした。後日談で、N君いわく、「なんとかなると思っていた」

という楽観ぶりで、冷や汗がでましたが、当時、私はN君に、何も努力しなくても、たまたま受かる事もあるだろうけど、本気になって勉強して受かった方が入学した後の高校生活を大事にできるんだ。という話を何度も話しました。それが響いたかどうかは定かではありませんが、ある日を境に、N君は毎朝、人より早く起きて、日課のお参り前に一問一答集を読みふけり、学校から帰って夕方からは、ひたすら社会の歴史と数学の基礎問題を繰り返しました。正直、1 か月程度では大きな成長はしないものです。私は、自分の力で勝ち取ったという感覚を知って欲しかったのです。そういう意味では本当に良く頑張りました。それだけで十分だったのですが、嬉しい事が2つありました。1つは、合格発表後の成績開示をしてみると、N君が普段とっている点の、なんと 1.8 倍の点数をとっていたのです。勉強は嫌いだし、やってもできない。と思い込んでいるN君にとって、これは相当自信がついたと思います。そして、もう1つ、N君が、ある日、私にこう言ってきました。

「なんか最近、前よりも忘れずに覚えていられるようになった気がする。」この言葉は、本当に嬉しかったです。N君が勉強が苦手なのは、覚えた事をすぐ忘れてしまうというのが大きな理由だったので、N君の言葉は、その壁を越えた事を実感したように聞こえました。

私は、毎年のように受験生を担当に持っていますが、今年ほど、ひやひやした年はありませんで

(令和 2 年 5 月 10 日発行 月刊「円福」476 号付録)

したが、今年ほど喜びを感じた年も始めてでした。コロナウィルスの影響で全く登校はできていませんが、登校が開始されたら、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

中学に入学して

4月になり新しく中学生、高校生になった子達の入学式が続きました、あおぞらホームでは新たに新中学生3人、新高校生2人になりました。

私は中学生の入学式に参加したのですが、先日まで小学生だった子達が新しい制服に身を

包み中学校へ行く姿に成長を感じました。しかし、それぞれ新たな期待に胸を膨らませていた矢先、休校になってしまい出だしを挫かれてしまいました。そんな中でも園での生活は

中学生らしく学習も小学生の頃より頑張っており取り組んでいたり、洗濯も自分でしたり、学校には行かないけど子ども達それぞれ自覚を持って過ごせています。

新たに部活も始めたいだろうし、学力も遅れていかないか心配なところでもあります。

その為に子ども達も職員も今できる事をしっかりとやっていかなければならないと思います。

中学に入学して

あおぞらホーム 山田忍



まごころホーム 橋本雅



今年度まごころホームでは、2名の子が中学校に入学しました。その中の1人、Uさんの担当をさせて頂くことになりました。入学式当日、新しい環境に緊張していました。クラス発表を見ると、仲の良い友達と同じクラスになりホットしたようで友達に駆け寄っていく姿があり私も安心しました。入学式は緊張しながらも堂々としている姿に頼もしさを感じました。入学して1週間、元気に登校し少しずつ慣れてきたように感じましたが、新型コロナウイルスの影響で臨時休校となってしまいました。今は、できること復習や予習をしています。先が見えず不安も大きいと思いますが、できることを精一杯取り組めるようサポートしていきたいと思っています。

中学校3年間で沢山の経験し学び成長していけるよう支えていきたいと思っています。これから先、困ったこと、難しいこと、分からないも出てくると思うので様子を聞きながら充実した学校生活を送れるように応援していきたいと思っています。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

今年1年間の目標 あおぞらホーム ※一部抜粋

今年がんばること

ぼくには、今年がんばりたいことが3つあります。1つ目は昨年達成できなかった、「授業中の態度」です。なぜかという、小学校の授業にはまだついていけないけど、ぼくは今年から中学生になります。授業中うるさくしていると、周りの人も、自分も困ってしまいます。なので、授業中は、静かに集中して勉強に取り組みたいです。2つ目は、小学生の時には無かった部活動です。ぼくは、中学生になったら野球をやりたいと考えています。なぜかという、ぼくは、小学校1年生の時から6年生まで野球をやってきました。とても野球が楽しいと感じました。しかし、中学の部活動は、小学生の時よりも練習量が多く、辛い時や、辞めたいと思う時があると思います。ぼくはそれでも、乗り越えて大会や試合にたくさん出て、たくさん優勝したいです。でも、部活動を頑張るだけではダメなので、愛育園での生活も、お参りで誰よりも大きな声でやったり、生活と両立させていきたいです。3つ目は愛育園の色々な行事でしっかりと働く事です。小学生の時には、あおぞらの中高生ばかり任せて小学生はほとんど何もやっていませんでした。ぼくは中学生として、みんなが嫌がる事も積極的に動こうと思っています。自分から積極的に働いて、みんなが喜ぶ大成功な行事を作っていきたいです。

(中1・Y君)

今年がんばる事

ぼくの今年の目標は3つあります。1つ目は、わるれものをしないことです。ぼくは、2,3年生のころわすれものをいっぱいしてしまったからです。4年生になったらわすれものをしたくないです。2つ目は、野球をしっかりとやることです。ぼくは3年生の頃アルプスピアホームさんたちと野球をした時に、三しんをしたときにすねてしまったことで、園長先生から怒られたから、4年生になったらしっかりとやりたいと思っています。3つ目は友だちをだいじにすることです。なぜかという、ぼくは友だちをいじめてしまうからです。4年生になったら、友だちを大事にしたいと思います。

(小4・S君)

ことしのもくひょう

ぼくのもくひょうはやさしい人になることです。やさしい人になるためにがんばりたいことがあります。1つ目にお参り係です。でもかねがちょっとしんばいです。でもがんばります。2つ目は英語です。英語はちょっとむずかしいです。とくに、はつおんがむずかしいです。れんしゅうがんば

(令和2年5月10日発行 月刊「円福」476号付録)

ります。3つ目は、しょくじのマナーをよくすることです。おちゃわんをもたないことがあります。先生の話をおきいてきれいに食べれるようになりたいです。ことしは、この3つをがんばります。ほかに、なわとびもがんばります。

(小3・T君)

令和2年度の抱負

僕は、この1年を振り返って、まだまだ頑張れる1年だったと思います。理由は、部活の際、捕手という1番重要なポジションをやっている中で、冷静に判断できずに誤った指示をして、自分がチームの首を絞めてしまうことがありました。また、3年生になっていくのに、勉強の時間集中できず、何回も談話室の出入りを繰り返していました。生活では友達に流されてしまい、自分は何も注意できずいつも友達についていけただけでした。授業では、友達と話してしまい、授業に集中できていませんでした。このように1年を振り返り、多くの課題がありました。僕は、この1年間、主に「勉強」「部活」の2つを頑張り、文武両道の1年にしたいです。そして、志望校に入学できるようにしっかり勉強したいです。僕の志望校は「屋代高校」です。屋代高校に合格するために、勉強では1,2年生の総復習、3年の授業でやった内容を復習する。また、生活では、お参りで大きな声を出し、自分で考えて、行動をする。これらの事を実行して、「屋代高校」に合格できるように頑張りたいです。

(中3・H君)

今年1年間の目標 まごころホーム ※一部抜粋



私が1年を振り返って出来たことは、苦手な算数も自分の力で解けるようになったことと、談話室に入る時に大きな声であいさつが出来たことと、自分のやるべきことは最後までやりとげたことです。

反省点は、言葉づかいで人につよい言い方をしてしまい、きずつけてしまったことです。来年度は、注意された時に素直に聞き、言葉づかいにきをつけ、つよい言い方をしないように意識して生活したいです。ごはんでは、きれいなもので苦戦し、ごちそうさまの時間におくれてしまうことがありました。来年度は嫌いな物があっても時計を見て、急ぐように心がけたいです。

野球では、集中力が切れてしまいコーチに怒られたり、大きな声を出さなかったり、構えが出来なくなってしまったことです。来年度はたくさん声を出し、しっかりと構えるようにがんばりたいです。この3つを目標に1年間取り組んでいきたいです。

(小6・Mさん)



私がこの1年間を振り返ってみて良かったと思うことは、朝、談話室に入る時や、お客さんに会った時に大きな声であいさつできていたと思います。

しかし、出来なかったこともふまえて、今年がんばりたいことが3つあります。1つ目は清掃自分で気づいてやりたいです。園でも学校でも時間いっぱい、すみずみまでやりたいです。2つ目は、テストの点数を上げたいです。そのためには、学習時間を延ばし、頭に入るように理解しながらやっていきたいです。今年は高校受験があるので、目標点数を目指して頑張ります。最後は部活です。今年で引退となるので、堂々と引退できるよう毎日しっかりとした態度で練習にのぞみたいです。また、副部長として後輩の手本となるよう、部活はもちろんのこと、学校生活もしっかりと送りたいです。

(中3・Aさん)

私は、この1年を通して自分が成長したと思うことがいくつかあります。まず掃除です。初めは面倒だと思っていましたが、掃除をした時の達成感を感じると楽しいと思い、毎日すみずみまできれいにすることが出来ました。他にも、行事のお手伝いを一生懸命できました。

今年度の反省を踏まえ、来年度頑張りたいことはまず、挨拶です。朝、園長先生より先に大きな声で必ず挨拶します。次に、志望校に合格する事です。私の夢は保育園の先生です。それを叶えるために、テストの点と成績を上げるのを頑張りたいです。

そして来年の3月に私は卒園を迎えます。その日まで、園の行事や日々の生活を大事にし、当たり前前の事が当たり前前にでき、誰からも頼ってもらえる人になりたいです。園にいられるのも最後なので、たくさんの思い出を作りながら、もっともっと成長できればいいなと思います。

(高3・Yさん)

児童 生活記録

川あそび



ぼくたちは、池や、川などにたくさん連れて行ってもらいました。始めて行った時は、とても広く興奮していました。そこで、魚がいると聞いて、魚釣りをしたいと富沢 t に聞いたら「やとう」と言ってくれました。それで、毎日のように、池や川などに行きました。ついこの間、N君が20cm超えの魚を釣って、本当に釣れると思っていたのでとてもびっくりしました。川では、カニをたくさんつかまえた

(令和2年5月10日発行 月刊「円福」476号付録)

した。ハサミが太いのがたくさんいて、最初の時は、カニに触れなかったけど、今ではふつうに触れるようになりました。先生たちに色々な川に行かせてもらって、カニや、ザリガニがたくさんとれました。こうやっていけるのも、あたりまえのことではないので、普段の生活をしっかりしていきたいです。

(中1・Y君)

池遊び・川遊び。たこあげ



池遊びでは、魚を釣ったり、つかまえたりしました。ときには、ワナに入ったりして、うれしいこともありました。川遊びでは、カニをつかまえたりしました。石をどかしたり、ほったりしてカニをつかまえました。カエルなどもいて楽しかったです。

たこあげでは、たこをあげるために、ビニールを切って作ることから始めました。最初はむずかしくて作るのが大変でした。けど、2、3個作ってくると、なんだか楽になりました。たこあげは、落ちたりもしたけど、ちゃんと上がってよかったです。

(中1・R君)

凧あげ

まず、ぼくたちは一から作りました。最初にビニール袋を半分に切って、たて60横40で切って、横のかどにガムテープをはって、穴あけパンチで穴を開けて、ひもをはらして、凧の真ん中でしばって、その左右に、ストローを4本重ねておいて、テープでとめて、あげる時のひもを伸ばしてひもを止めて、手で持つところを作ってひものさきのところをガムテープで止めればかんせいで、外でとばすと高くとんだけど、あとでストローがぼきぼきにおれてとばなくなるかのうせいがあって、本当にぼきぼきになった。

(小4・S君)

愛育園の職員になって

あおぞらホーム 畔上裕吾

今年度より円福寺愛育園の職員となりました畔上裕吾と申します。入職し早1ヶ月が経ちました。今現在、新型コロナウイルスの感染拡大により小中高と休校の措置がとられているため、子どもたちと園で過ごす時間が増えています。通常時では学べない業務や、子どもたちと勉強や運動を共にすることで、子どもたちの名前や性格などを日々の関わりを通して少しずつ覚えることができました。初めは業務を覚えるのに必死でしたが、先輩方が丁寧に教えてくださり、自分にできること

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

が微力ではありますが、増えていき、充実した日々を送らせていただいています。

先輩方は、子どもたちの特性や生活背景などを踏まえた上で子どもたち一人一人に合わせた指導を行っています。他の先輩方と比べてまだ未熟ではありますが、日々の子どもたちとの関わりを通して子どもたち一人一人を理解し、自分らしさを大切にして、1日でも早く諸先輩方のような指導



員になれるよう精進して参ります。よろしくお願ひ致します。

まごころホーム 中村茉莉歌

愛育園の職員となり1ヶ月になりました。正直、毎日分からない事ばかりです。自分の中で児童養護施設のイメージは、暗くどんよりしたものでした。でも、愛育園

は真逆で1人1人が個性を持っており、明るく元気な子たちです。そんな子ども達と過ごしていると、子ども達から学ぶこともたくさんあります。まず、全員が礼儀正しく挨拶がしっかりと出来ることです。まだ入社して日の浅い自分が馴れ馴れしく挨拶をしていいのか悩んだ瞬間がありました。でも、目が合うと子どもの方から挨拶を大きな声でしてくれて、日が浅いことなんて気にせず、挨拶から始めなければと気付かせてもらいました。他にも、はき物は揃える、朝・夕のお参り、食前・後の言葉など、子どもたちが当たり前に行っていることに驚く日々です。

まだまだ力不足ですが、目指していた愛育園の職員として、日々成長していこうと思います。宜しくお願い致します。

愛育園の職員になって

まごころホーム 大山豊彦



私は南米のパラグアイで生まれ育ち、長野県の中学・高校・大学を卒業した後、一年の語学留学を経て愛育園で働かせて頂くことになりました。

園是の「一切衆生皆吾子」（自分の子と同じように、自分が親に愛されたように、園の子を愛せ）を読んだ時、私自身も親以外の沢山の方々に助けられ、育てられ、愛情を注がれてきたなと自分の人生を振り返ることが出来ました。園には

様々な事情の園児たちが生活していますが、園児たちを見たとき言い表しようのない希望が湧くと共に、沢山の方々にかけられた愛情を今度は私が流していくんだ！と心が燃えてきました。

園の職員の方々からも、園児に対する真剣で熱い思いがひしひしと伝わってきて、愛育園で働く

(令和2年5月10日発行 月刊「円福」476号付録)

ことが決まって本当に嬉しく思います。日々の生活の中で、園児たちとどう接したら分からない場面があり困ってしまうこともありますが、園長やホーム長、先輩職員の姿から多くのことを学びながら、毎日明るく元気に、笑顔で子供たちと真剣に向き合っていきたいと思います。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 倉島誠

新年度を迎え、あおぞらホームでは入学を迎えた子が6名います。新任職員を2名迎え新しいスタートを踏み出しました。

新型コロナウイルスの流行に伴い、学校が休校状態にあります。そんな中での愛育園ですが、「愛育園学校」という名目で日課を作り、小・中・高に分けた50分授業を午前中2時間、午後1時間の計3コマを行っております。また午後は各ホームの時間として、外遊びへ出かけてみたり、調理実習を試してみたり、マラソンをしたりと過ごしています。いつ学校が再開するのか見当もつかない所、学校から出されている課題はもちろん、新学年の予習にも力を入れています。小学1年生のK君やY君も50分という長く感じる時間もきちんとイスに座って一生懸命勉強しています。中学1年生のY君、R君、S君も新しい“英語”の単語学習に悪戦苦闘しています。



外遊びでは、最近近くの小さな川や池へ行き、魚捕りやカニ捕りを行いました。開いている時間でペットボトルを使って罟を作り、それを仕掛け、また捕りに行くというのが子ども達にとってとても楽しいようで、全員大はしゃぎで楽しんでいる姿があります。他にも時期は違いますが、ストローとゴミ袋を使って、凧揚げを試してみたり、山へ散策に行ってみたり、調理実習では、スクランブルエッグや卵焼き、カルメ焼きなどもしました。みんな元気いっぱい毎日を楽しんでいます。

一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願うとともに、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

まごころホームだより

まごころホーム 田中沙季

4月に入りまごころホームでは、入園・入学を迎えた子どもが5名おり、新任職員が1名入りました。入園・入学する子どもたちはそれぞれ期待や不安もありながら新しい制服を着てカバン・ランドセルを背負って登校していました。しかし、新学期が始まってすぐに新型コロナウイルスの影響で学校・幼稚園共に休校となってしまいました。休校から2週間程度経ち、子ども達からも早く学校に行きたいという声が開かれます。先の見えない状況ではありますが、手洗い・うがい・消毒をしっかりと行い、早く収束し登校出来るようになることを祈ります。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和2年5月10日発行 月刊「円福」476号付録)

休校となり、園で過ごしている子どもたちですが、日頃の手洗い・うがい、消毒のおかげか風邪をひくことなく元気に過ごしています。以前のように車で公園に遊びに行くというようなことは出来なくなりましたが、園の体育館で遊んだり、おやつ作りをするなど、楽しみながら過ごしています。授業が受けられない分、学校から課題もたくさん出されていますが、子どもたちはそれぞれ職員と相談しながら計画を立て、一生懸命取り組んでいます。新しい学年の授業が受けられないのは残念ではありますが、休校の期間中に前の学年の復習をして苦手をなくしたり、出来るだけ予習をして休校明けの授業で少しでも困らないように頑張りたいと思います。

- ・シーザーサラダ
- ・エビフライ
- ・アップルパイ

調理室だより

調理員 川澄保美

4月から新学期がスタートしました。

小学校に2名、中学校に5名、高校に2名、進級しました。

(おめでとうございます!)

新型コロナウイルスも深刻な状況が続き学校も休校となりました。

休校となりましたが、、

子供達は毎日、勉強・スポーツ・手作りのおやつ作りと計画を立て、規則正しい生活を送り、元気に過ごしております。

コロナウイルスに負けないよう、子供達の心を満たす栄養のある食事作りに励みたいと

思いますので、宜しく願い致します。

4月は4人の子供達の誕生日会がありました。

2日 K君の誕生日メニュー。

たらこスパゲティイー・コールスローサラダ・チョコレートパフェ。

3日 Uさんの誕生日メニュー。

ドリア・鶏の唐揚げ・サケチーサラダ。

6日 Aさんの誕生日メニュー。

ねぎとろ丼・鶏ささみのクラッカー揚げ・カプレーゼ・チーズケーキ。

8日 入学進級メニュー

お赤飯・串カツ・菜の花のおひたし・コーンバター・フルーツ in ゼリー。

19日 Sさんの誕生日メニュー。

・たらこスパゲティイー

